

青葉の梢猶あはれ也。卯の花の白妙に

茨の花の咲そひて、雪にもこゆる心地ぞする。

古人冠を正し衣装を改めし

一般

段級

〔奥の細道〕

源頼政の歌を思い出すと、今はまだ青葉である梢の葉もよりいっそう趣深く感じる。卯の花が真っ白に咲いているところに、いばらの花が咲き混じっていて、雪の降る白河の関を越えるような心地がする。昔の人たちは、冠を正し衣装を改めて

